

専門課程シラバス

授業科目	老年看護学実習			担当者	高橋美由紀		
開講時期	2年後期	授業の方法	臨地実習	単位数	2	時間数	90
授業概要	<p>老年期にある対象を理解し、加齢減少に応じた看護を学ぶ。また、健康障害を持つ対象とその家族に対する看護を学ぶ。看護を実践する基礎的能力を養い、保健、医療、福祉の連携における看護者の役割を理解するとともに、自己の老年看護観を発展させる。</p>						
授業計画	<p><1週目></p> <ul style="list-style-type: none"> 受け持ち患者の疾患、治療、看護を理解する。 患者に必要な援助を考え、指導者とともに行うことができる。 ゴードンの機能的健康パターン毎の仮診断を出し、患者に適切かどうかを検証できる。 パターン毎に診断の特定をする。 診断を確定し、優先順位をつける。 看護の方向性、診断の特定及び優先順位についてカンファレンスを行う。 <p><2週目></p> <ul style="list-style-type: none"> 優先順位が一番高いものについて目標を設定し、その根拠を明らかにする。 患者の目標に応じた具体的な計画の立案、及び援助を行う。 必要な情報を把握し、それをもとにアセスメントや目標達成の評価をして、看護目標、計画立案についてのカンファレンスを行う。 <p><3週目></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の行った看護のフィードバックを行う。 フィードバックした内容を基に、看護計画の評価、修正を行う。 看護過程を評価する。 自分の行った看護を振り返り、実習を通して学んだこと、今後の課題を明らかにする。 						
テキスト 参考文献	<p>系統看護学講座 専門分野 老年看護学 第9版 系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論 第5版 NANDA-I 看護診断看護診定義と分類 2021-2023 看護診断ハンドブック 第11版</p>						
成績評価 の方法	<p>ルーブリック評価を用いた評価規準に基づき、各目標の達成度を評価する。(実践・態度・記録)</p>						